

平成 27 年 12 月期 第 1 四半期決算説明会 質疑応答の要約

2015 年 4 月 30 日（木）に開催した、平成 27 年 12 月期 第 1 四半期決算説明会において、出席者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。弊社代表取締役会長兼社長 グループ代表の熊谷より回答させていただきました。なお、グループ広報・IR 部により補足加筆させて頂いております。

Q1. 1Q は好調なスタートだったと思うが、2Q もこの売上成長のモメンタムは続くのか？

A1. インフラ事業はストック収益が今後も積み上がって行くイメージを持っておりモメンタムは継続しています。広告・メディア事業は 3 月の広告需要があったのは確かで、今後もこのモメンタムが続くかどうかは不透明。証券事業はもっともボラティリティの高い事業なので、為替の動向は注視しています。ただ、証券業績が好調な要因は、為替市場が動いているというよりはむしろシェアの拡大により優良な顧客基盤を構築できていることにあると考えています。また、高い技術力によりコスト優位性を持っており、為替市場が動かなくなったからといって急に収益が悪化することもないのではと考えています。（熊谷）

Q2. インフラ事業での価格競争の状況について

A2. 価格競争をしかけてシェアを拡大してきたのはむしろ当社グループ。確かに価格競争はありますが、それほど懸念していません。例えば、ドメイン事業などは、為替の影響により仕入れコストが上がったため、値上げを行なったが、登録件数などに大きな影響は出ていません。（熊谷）

Q3. 前年 1Q から収益性が大きく改善しているが、2Q 以降の利益のモメンタムについて

A3. 2Q も minne のプロモーション投資を行なう予定であり、またユビセキュア社ののれん負担も前年にはなかったものです。その他、1Q から 2Q に先送りしたコストなどはありません。（熊谷）

Q4. GMO クリック HD 株の 98.4% を GMO インターネットが保有しており、流動性が低い件について

A4. 金融庁からの審査*を受けている段階であり、一切何も検討しておりません。（熊谷）

*東京証券取引所が定める新規上場審査基準に準じた基準に適合すると認められるための審査（広報・IR 補足）

Q5. minne の今後のプロモーションの考え方について

A5. 3Q 以降のプロモーション戦略は現場で検討中です。インターネットの事業は目標を決めるよりも、足元の状況をみて走りながら考えることが重要と考えています。（熊谷）

Q6. 広告・メディア事業について、1Q は季節性があったとのことだが、一方 GMO TECH 社、GMO メディア社など季節性の影響を受けにくい分野も増えてきているように感じる。今後のトレンドはどう考えればよいか？

A6. 広告・メディア事業は、運用型広告・エンジニア人材の採用を強化しており、収益改善のタイミングは今期よりも来期以降と考えています。ただ、体制変更により開発現場の士気は向上し、またエンジニア採用でも状況は好転しており

ます。必ず数字に結びついてくるという手応えは感じています。(熊谷)

Q7. 証券事業について1～3月は取引高が高水準で推移したが、足元の状況は？

A7. 4月も「悪くはない」という状況です。ただ、繰り返しになりますが、証券事業の業績が良いのは、単に為替市場が動いたということではなく、組織が改善を続けていること、優良な顧客基盤を抱えていることだと感じています。(熊谷)

Q8. インフラ事業の収益性について、minne への戦略投資など特殊要因を除くと増収に伴う増益がないように見える。既存事業でどこか弱っているところはあるのか？

A8. ドメイン事業は為替の影響による仕入れコスト増で収益性の悪化がみられましたが、更新料金を適正価格に変更したことにより、2Q以降は改善していく見込みです。その他、昨年1QにEC支援事業でワンショットの開発案件売上があったため、前年比で悪くなっているように見えてしまっています。結論、既存事業で弱くなっているところは特にないという印象をもっています。(熊谷、一部 IR 加筆)

Q9. 広告・メディア事業が大幅増収にもかかわらず、利益の伸びが弱いことについて。人材採用によるコスト増が要因か？

A9. 1Qについては、コスト増というよりは、セールスマックスの影響が大きくなっています。リスティング広告など利益率の低い商材の比重が増したため、利益の伸びは限定的なものとなりました。エンジニア・クリエイターの採用による自社商材開発の強化、これが利益貢献してくるのは来期以降と考えています。(熊谷、一部 IR 加筆)

Q10. minne について、国内同業他社の M&A は選択肢にあるか？

A10. 「仲間づくり」に応じてくれる所があれば積極的に進めていきたい。(熊谷)

以上